

1. がんについて相談したい

(1) がん相談支援センター

がんの治療や療養生活全般に関して、患者さんやご家族と一緒に考え、情報をさがすお手伝いをしています。がん患者さんやご家族ががん相談支援センターのある病院に通院していなくても、電話または面談などの方法で、どなたでもご利用することができます。相談は無料です。

ご相談は、看護師やソーシャルワーカー（社会福祉士）などのがん相談の専門スタッフがお受けします。内容によっては専門家と連携を図りながら、お応えしています。相談内容が、ご本人の了解なしに担当医はじめ、他の方に伝わることはありません。安心してご相談ください。

治療費や手術にかかる費用が心配です。 ➔ P66

退院することになったけれど、どうしたらいいの。 ➔ P54

セカンドオピニオンってなんだろう。 ➔ P32

先生から病気について説明を受けましたが、難しくてよくわかりません。 ➔ P15

仕事を続けてもいいのだろうか。 ➔ P74

がんと言われ、頭の中が真っ白です。これからのことを考えると不安でいっぱいです。 ➔ P14

コチラもCheck!

➔ P29 「がん相談支援センターにご相談ください」



■ 沖縄県内のがん相談支援センター

(2016年2月現在)

琉球大学医学部附属病院



対応日時: 月～金曜日・9時～12時、13時～16時半

☎ 098-895-1507

「ピアサポーターとも連携して、みなさんのお話をうかがい一緒に考えます。治療や療養に伴う疑問や不安は、ひとりで悩む前にどんなことでもお気軽にご相談、ご利用ください。がんの冊子や各種資料も配布しています」

沖縄県立中部病院



対応日時: 月～金曜日・9時～17時

☎ 098-973-4111 (内線3232)

「がん患者さんやご家族の方が、安心して療養を続けることができるように、不安や疑問、心配ごとについて、専門の看護師やソーシャルワーカーがお話をうかがいます。また、がんに関する冊子や情報をご提供します」

那覇市立病院



対応日時: 月～金曜日・9時～17時

☎ 098-884-5111 (内線127、283)

「治療・お金・仕事・生活などでご心配やお困りのこと、気になることについてのご相談や、お知りになりたい情報を一緒におさがします。お気軽にご利用ください。患者さん・ご家族向けのがんの冊子や各種資料もお配りしています」

北部地区医師会病院



対応日時: 月～金曜日・9時～17時

☎ 0980-54-1111

「当センターでは、治療や医療費、通院方法、病院や家族との関係等のお悩みに対応しています。本人ではなく、ご家族からの相談にもプライバシーの保護を厳守しますので、お気軽にお問い合わせ下さい」

県立宮古病院



対応日時:月～金曜日・9時～17時

☎0980-72-1352

「何かお困りごとやお悩みについて、がん性疼痛認定看護師やピアサポーターの方たちと連携しながら一緒に考えさせていただきます。また月に1回がんサロンも開催しています。お気軽にお話にいらしてください」

県立八重山病院



対応日時:月～金曜日・9時～17時

☎0980-83-2525

「がん化学療法看護認定看護師と連携しながら、治療や経済的なこと、心の悩みなどについて、看護師、MSW、PSWと一緒に考えさせていただきます。お気軽にご相談ください。患者会の案内や資料も配布しています」

※上記の病院以外でも、ソーシャルワーカー(社会福祉士)が様々な相談に対応しています。各病院の医療福祉相談室・地域医療連携室へお問い合わせください。



一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

<http://www.msw-oaswhs.jp>

(2) 沖縄県医療安全相談支援センター

(医療安全や患者の権利の相談窓口)

医療上または医療内容に関する相談、医師、その他の職員の対応など、医療に関する相談および苦情などがございましたら、沖縄県医療安全相談支援センターにご相談ください。

沖縄県医療安全相談支援センター ☎098-866-1260

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 沖縄県福祉保健部 医務・国保課内

TEL&FAX:098-866-1260(相談専用)

受付時間:月～木曜日(祝日のぞく)・9時～12時、13時～17時



体験談

大丈夫！ あなたはひとりじゃない！

「あ～、これ乳がんですね」とあっさりと告知を受けたのが2004年の春。健康に自信のあった私は病気とは縁遠いものだと思っていました…。まさか、自分が、がんになるとは…。

がんの宣告を受けた私の頭の中は真っ白で、自分のことと捉えられないまま、手術や治療は淡々と進み、私の心は置き去りでした。医師の説明は理解できる、理解できるけど納得できない、腑に落ちない…。がん患者となった瞬間から健康な人や社会との隔たりを感じ、孤独と恐怖でいっぱいの私は悶々とした日々を過ごしていました。「なぜ、自分はがんになったのだろう…」「なぜ自分だけ?」「これから先どうなっていくのだろう…」。

人は病を患うと、不安と孤独に陥ります。私は胸にわき上がる様々な想いや願いを誰かに聴いてもらいたいと思っていました。そんなときに、同じ境遇だからこそわかり合える仲間と出会い、「ひとりじゃない」とつながりを感じることで、孤独の闇から解放され、安堵感とともに生きる力がわいてきました。このように仲間(ピア)同士が互いに支え合うことを「ピアサポート」といいます。

キレイごとだけががんは語れない。時には心が折れることもあります。それでも、先輩患者からいただいた感謝のバトンを次へつなぐ、そしてまた次の人へとつなぎ、仲間とともに道を切り開いていく醍醐味もあると思います。自分のがん体験を語ることは、自分自身のつらさや弱さとも向き合うことにもなるけれど、病気も人生の出会いのひとつだということを、先を歩く先輩患者が教えてくれました。

今、つらくてどうしていいのかわからない方、あなたの力になりたいと思っている人が周りにいます。勇気を出して一緒に歩んでいきましょう。大丈夫！ あなたはひとりじゃないから！

(40代 女性)